

令和元年度
(2019年度)

都市整備部の取り組み実績

<部の構成>

都市計画課、住宅まちづくり課、連続立体交差推進室、施設整備室、開発指導室
開発調整課、開発指導室開発審査課、開発指導室建築安全課

1. 重点施策・事業

(1) 枚方市総合文化芸術センターの整備をはじめとする公共建築物の整備・保全

<p>方向性</p>	<p>令和2年度内の完成をめざして枚方市総合文化芸術センターの整備に取り組むとともに、公共施設の計画的な整備・保全に取り組めます。</p>	<p>～枚方市総合文化芸術センターの整備のイメージ～</p> 
<p>取り組み</p>	<p>本市の広域中心拠点である枚方市駅周辺の再整備の起点となる枚方市総合文化芸術センターについては、平成30年度から建設工事に着手しており、令和2年度内の完成をめざします。</p> <p>また、香里ヶ丘図書館の建設工事に着手し、隣接する香里ヶ丘中央公園と一体的に整備を進め、令和2年度内のオープンをめざします。</p> <p>市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき財政負担の平準化を図りながら、計画的な改修・更新工事を進めます。</p> <p>平成31年度当初予算：2,467,340千円【枚方市総合文化芸術センター整備】 1,538,891千円【公共建築物の整備・保全】</p>	
<p>実績</p>	<p>枚方市総合文化芸術センターの建設工事については、基礎掘削工事において地中埋設物が発見され工期を49日間延長しましたが、その後は順調に工事を進めました。</p> <p>また、香里ヶ丘図書館の建設工事については、令和2年3月に完成しました。</p> <p>市有建築物の維持保全については、当該計画に基づき、15件の工事を完了しました。</p> <p>さらに、これらの整備、保全工事のほか、施設の改良工事等にも取り組み、総件数45件の工事を完了するとともに、令和2年度の工事実施に向けた設計業務についても完了しました。</p> <p>令和元年度決算：1,027,194千円【枚方市総合文化芸術センター整備】 1,046,881千円【公共建築物の整備・保全関連】</p>	
<p>取り組みに対する達成状況</p>		<p>【 ○ 】</p>

(2) 京阪本線連続立体交差事業と光善寺駅西地区市街地再開発事業	
方向性	<p>令和10年度の完成をめざして京阪本線連続立体交差推進事業に取り組みます。あわせて、光善寺駅周辺については、今年度設立予定の光善寺駅西地区市街地再開発組合とともに新たなまちづくりを進めます。</p> <p style="text-align: right;">～光善寺駅西地区市街地再開発事業のイメージ～</p> 
取り組み	<p>鉄道高架工事の早期着手に向け、計画的かつ効率的に事業用地の取得を進めるとともに、今年度においては文化財調査や地下埋設物調査等の準備作業を進めます。また、設立予定の組合に対して、市街地再開発事業の専門的ノウハウを有する事業協力者等と事業の進捗を図るとともに財政的・技術的支援を行います。</p> <p>平成31年度当初予算：3,617,144千円【京阪本線連続立体交差事業経費】 158,603千円【連続立体交差事業関連まちづくり事業経費】</p>
実績	<p>京阪本線連続立体交差事業における今年度の事業用地の取得については、大阪府からの配当額をもって約4,810㎡を取得しました。また、鉄道高架化工事着手に向けて文化財調査等の準備作業を行いました。</p> <p>光善寺駅周辺については、再開発組合に対して大阪府による組合設立（8月15日）の認可に係る技術的支援を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金を活用し市街地再開発事業補助金の交付を決定することにより、権利変換計画の作成及び施設建築物や公共施設の設計などに着手しました。</p> <p>令和元年度決算：3,205,458千円【京阪本線連続立体交差事業経費】 12,680千円【連続立体交差事業関連まちづくり事業経費】</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>	

(3) 定住促進につながる住宅施策の推進（三世代家族・定住促進事業）	
方向性	<p>市外在住の子育て世帯及び若年夫婦世帯が、市内在住の親世帯と同居または近居するために住宅を取得またはリフォームすることに対して補助することで、若年世代の転入及び安心して市内定住できる環境整備を図ります。</p>
取り組み	<p>同居または近居するための住宅取得費用や同居のための持ち家のリフォーム費用に対して補助を行います。さらに、今年度中を目標に補助内容の精査や関連する他の補助制度との整合を図り、子育て世代の誘導及び定住促進につながる補助制度のあり方について、関係機関との協議・調整を進めます。</p> <p>また、本市と包括連携協定を締結しているUR都市機構が「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」を昨年12月に策定されたこともあり、香里ヶ丘地域における子育て世代を呼び込む取り組みの更なる推進に向けて、引き続き関係機関との協議・調整を進めます。</p>

	<p>《目標値》</p> <p>令和元年度 目標値（平成28年度設定）</p> <p>三世代家族・定住促進事業による補助件数（累計）125件</p> <p>（実績）平成29年度に61件、平成30年度に 56件で計117件</p> <p>（予定）令和元年度に 50 件予定</p> <p>平成 31 年度当初予算：15,000 千円【三世代家族・定住促進事業費】</p>
実績	<p>三世代家族・定住促進事業の補助件数については、12月補正を行い計56件の助成を行い今年度の目標値を達成しました。また、当該補助制度の見直しに向け、関係機関と協議・調整を行い、旧耐震基準の空き家を活用して若者世帯や子育て世帯の転入・定住促進を図る新たな制度（若者世代空き家活用補助制度）を創設しました。さらに、UR都市機構と協議・調整や、情報交換等を行いました。引き続き、団地建替事業に伴う協議・調整等を進めます。</p>
	<p>《令和元年度 実績》</p> <p>三世代家族・定住促進事業の補助件数 56 件</p>
	<p>令和元年度決算：16,800 千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>	

（４）空き家・空き地対策推進事業	
方向性	<p>空家等対策計画に基づき、情報提供や相談等の支援による空き家の有効活用の促進を図ります。</p>
取り組み	<p>空き家・空き地の活用については、所有者と市民団体とのマッチング、所有者や利用希望者への情報提供、空き家セミナー及び相談会の開催により支援を行います。加えて、移住・住みかえ支援機構（JTI）が実施している「マイホーム借上げ制度」の周知・普及を行い、高齢者の持ち家を子育て世代等への賃貸に供給することで、市内転入など定住促進を図るとともに、空き家の発生防止に向けた取り組みを進めます。</p> <p>その他、空き家に係る補助制度の新設に向け、他の補助制度との整合を図り、関係機関との協議・調整を進めます。</p>
	<p>《目標値》</p> <p>専門家団体と連携したセミナー・相談会開催 3回（平成30年度実績2回）</p>
	<p>平成 31 年度当初予算：200 千円【空き家・空き地対策推進事業費】</p>
実績	<p>空き家、空き地の活用については、専門家団体と連携したセミナー・個別相談会を6月及び11月に開催し所有者や利用希望者への支援を行うとともに、マイホーム借上げ制度については制度説明会を7月及び2月に、個別相談会を8月及び2月に行いました。</p>

	<p>また、関係機関と協議・調整を行い、旧耐震基準の空き家を活用して若者世帯や子育て世帯の転入・定住促進を図る新たな制度（若者世代空き家活用補助制度）を創設しました。</p> <p>《令和元年度 実績》 専門家団体と連携したセミナー・相談会開催 2回 令和元年度決算：0千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(5) 空き家・空き地対策の推進	
方向性	<p>枚方市空家等対策計画や法・条例に基づき、空き家・空き地の適正管理を促進します。また、管理不良な空き家・空き地の所有者等に対し、適切な指導等を行います。</p>
取り組み	<p>土地・建物の所有者等に対して、空き家・空き地の適正管理等の情報提供等を行うとともに、協定を締結したNPO団体等と連携し、所有者等に対し、適正管理や有効活用に関する支援を行い、空き家・空き地対策を推進します。また、本市条例に基づき、管理不良な空き家・空き地の所有者等に対する指導等を行います。</p> <p>《目標値》 特定空家等に指定した空家等の改善率：100% 平成31年度当初予算：3,122千円</p>
実績	<p>空き家・空き地の利活用や適正管理に関するチラシを固定資産税納税通知書に同封することで、土地・建物の所有者等に対して情報提供を行いました。また、協定を締結したNPO法人と連携し、所有者等に対し適正管理や有効活用に関する情報提供などの支援を行うとともに、管理不良な空き家・空き地の所有者等に対する指導等（358件）を行いました。</p> <p>《令和元年度 実績》 特定空家等に指定した空家等の改善率：50% 令和元年度決算：1,299千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(6) 住宅・建築物耐震化促進事業	
方向性	<p>大地震による被害の軽減を図り、市民の生命と財産を守るため、住宅・建築物の耐震化及び危険ブロック塀等の安全対策を促進します。</p>
取り組み	<p>住宅・建築物については「木造住宅耐震改修補助制度」等を活用し耐震改修の促進を図ります。加えて、危険ブロック塀等については、新たに創設した「危険ブロック塀等除却補助制度」の周知啓発を行い、道路等に面する危険ブロック塀等の除却</p>

	<p>を促進します。</p> <p>また、これまでに実施した耐震化啓発の取り組み実績を検証し、計画的かつ効果的な取り組みを進めます。</p> <p>《目標値》</p> <table border="0"> <tr> <td>木造住宅耐震診断補助件数</td> <td>100 件</td> </tr> <tr> <td>大規模建築物等耐震診断補助件数</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修設計補助件数</td> <td>50 件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修工事補助件数</td> <td>60 件</td> </tr> <tr> <td>住宅除却工事補助件数</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>危険ブロック塀等除却補助件数</td> <td>51 件</td> </tr> </table> <p>平成 31 年度当初予算：69,718 千円【住宅・建築物耐震化促進事業経費】</p>	木造住宅耐震診断補助件数	100 件	大規模建築物等耐震診断補助件数	3 件	木造住宅耐震改修設計補助件数	50 件	木造住宅耐震改修工事補助件数	60 件	住宅除却工事補助件数	3 件	危険ブロック塀等除却補助件数	51 件
木造住宅耐震診断補助件数	100 件												
大規模建築物等耐震診断補助件数	3 件												
木造住宅耐震改修設計補助件数	50 件												
木造住宅耐震改修工事補助件数	60 件												
住宅除却工事補助件数	3 件												
危険ブロック塀等除却補助件数	51 件												
実績	<p>広報ひらかたやイベント等の機会を通じ、本市耐震補助制度の周知を行うなど、住宅・建築物の耐震化の必要性について広く啓発を図りました。加えて、危険ブロック塀の除却促進については、通学路を中心にパトロールを行い、状況に応じ個別に啓発及び補助制度の案内を行いました。</p> <p>また、過去の補助内容を検証し、耐震改修工事の内容に応じた補助金額の設定や、設計と工事のパッケージ化による事務の簡素化など補助制度の再構築を行いました。</p> <p>《令和元年度 実績》</p> <table border="0"> <tr> <td>木造住宅耐震診断補助件数</td> <td>79 件</td> </tr> <tr> <td>大規模建築物等耐震診断補助件数</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修設計補助件数</td> <td>32 件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修工事補助件数</td> <td>52 件</td> </tr> <tr> <td>住宅除却工事補助件数</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>危険ブロック塀等除却補助件数</td> <td>8 件</td> </tr> </table> <p>令和元年度決算：64,413 千円</p>	木造住宅耐震診断補助件数	79 件	大規模建築物等耐震診断補助件数	1 件	木造住宅耐震改修設計補助件数	32 件	木造住宅耐震改修工事補助件数	52 件	住宅除却工事補助件数	2 件	危険ブロック塀等除却補助件数	8 件
木造住宅耐震診断補助件数	79 件												
大規模建築物等耐震診断補助件数	1 件												
木造住宅耐震改修設計補助件数	32 件												
木造住宅耐震改修工事補助件数	52 件												
住宅除却工事補助件数	2 件												
危険ブロック塀等除却補助件数	8 件												
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>													

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	枚方市街地開発株式会社において、「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針」に基づき、引き続き会社の民営化に向けた取り組みを進めます。

実績	会社の自律に向け、本市の持株比率の引き下げ及び本市職員の取締役派遣廃止を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
29. 市有建築物の効率的・効果的な改修・更新工事	「輝きプラザきらら」及び「中央図書館」において、民間活力を活用した ESCO 事業により、老朽化した空調設備の更新や LED 照明への取り替えを効率的に実施するとともに、省エネルギー化に努めます。今後も市有建築物の改修・更新にあたっては、工事内容などの精査を行いながら効率的・効果的な工事の実施に努めます。
実績	ESCO 事業により更新した空調設備等の維持管理及び省エネ状況の検証を行い、市有建築物保全計画に基づく改修、更新工事について、効率的・効果的に推進しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
ワークプレイスの取り組み	部内会議等においてペーパーレス会議を積極的に活用し、紙の使用量の抑制と効率的な業務処理を図ります。また、窓口対応業務の改善を図るため、宅地建物取引時の重要事項説明書に関する調査方法や所管部署をまとめたリーフレットを作成します。
実績	部内会議等はペーパーレス会議での開催を基本とし、紙の使用量の抑制と効率的な業務処理に努めるとともに、宅地建物取引時の調査方法や所管部署をとりまとめたリーフレットを庁内関係部署の窓口に設置し、窓口対応時間の縮減など業務改善を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
ワークライフバランスの推進	ワークライフバランスを推進するため、効率的な事務執行を図り、時間外勤務の縮小に努めます。
実績	事務繁忙期における電話や窓口対応による事務の中断を回避するため、会議室等のスペースを活用して職員が事務に集中できる環境を整えることで、効率的な事務執行による時間外勤務の縮小を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆事業の実施にあたっては、可能な限り国の交付金等を活用し、財政負担の軽減に努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・総合文化芸術センター等を含む枚方市駅周辺地区、香里ヶ丘図書館を含む香里団地センター地区において、社会資本整備総合交付金を活用して必要な財源確保に努めました。 ・光善寺駅西地区市街地再開発事業については、当初予算や補正予算において社会資本整備総合交付金を確保することにより、事業推進を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆京阪本線連続立体交差事業の用地取得を迅速かつ円滑に進めるため、令和元年度（2019年度）の用地取得業務を引き続き民間機関を活用しながら進めます。また、光善寺駅西地区市街地再開発事業については、社会資本整備総合交付金の制度を活用して組合の活動を支援します。

実績	京阪本線連続立体交差事業の用地取得業務について、一般社団法人近畿建設協会枚方支所への委託契約により事業を進めました。また、光善寺駅西地区市街地再開発事業については、社会資本整備総合交付金の制度を活用し、組合が実施する事業に対して財政的支援を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆公共施設の整備・保全にあたっては、ファシリティマネジメントの視点をもって品質の向上とコスト低減に取り組み、効果的な予算執行に努めます。

実績	公共施設の整備・保全に際し、品質向上を考慮しつつ、省エネルギー面で有用な照明や衛生器具などの資材を選定し、ライフサイクルコストの削減に繋げるとともに、保全にあたっては計画に基づいた予防保全に取り組みることにより、効率的・効果的な予算執行に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆国や大阪府の補助制度を活用し、市内の木造住宅の耐震化及び危険ブロック塀等の安全対策を促進します。

実績	既存民間建築物耐震診断補助金、木造住宅改修設計、改修工事補助金、住宅除却工事補助金のうち、50%を社会資本整備総合交付金（国費）、約 25%を大阪府震災対策推進補助金（府費。住宅除却工事補助金を除く。）を活用し、住宅・建築物の耐震化を促進しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆新たに配属された職員を対象に新任研修を行い、組織の業務内容の理解及び職員の資質向上に努めます。

実績	新たに配属された職員を対象に研修を開催し、部内各課の若手職員が業務内容を説明することにより、双方が組織の業務内容の理解を深め、職員の資質向上につながる機会を創出しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆定期的な部内会議等により、部の組織目標や懸案事項について共有化を図りながら効率的な事業推進を図ります。

実績	理事者会議の開催にあわせて部内会議を実施することで、市の方針等について迅速に共有するとともに、各課の懸案事項や課題の解決に向けた協議及び検討を進める場として活用し、効率的な事業推進に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆組織の目標達成と業務の円滑な遂行には職員の専門知識と経験が必要となることから、研修や講習会等に積極的に参加し、担当職員の資質向上に努めるとともに、成果の共有化を図り、行政ニーズに的確に対応できる人材の育成に取り組みます。

実績	業務遂行に必要な建築指導行政に関する研修や、事務の効率化に必要なOA関係の講習等に参加し、共有化により組織として、行政ニーズに的確に対応できる人材育成への取り組みを行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆災害時における二次的災害を未然に防止するため、建築物や宅地の安全確認を行う判定士や被災建築物応急危険度判定コーディネーターの資格取得者の増員を図ります。

実績	被災宅地応急危険度判定士として11人が新規に資格を取得、15人が資格を更新しました。また、被災建築物応急危険度判定士として8人が新規に資格を取得、23人が資格を更新しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆人が集まる都市づくりを進めるための都市政策に関し、その取り組み状況を市民と共有できるよう情報発信に努めます。

実績	空き家対策は、広報やホームページによる情報発信のほか、セミナーおよび個別相談会の開催案内を空き家所有者に直接郵送し啓発に努めました。また、三世代家族・定住促進事業については、補助制度の周知に加え、マイホーム借上げ制度の普及に向け市民を対象とした説明会および個別相談会を実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆特に、都市計画に係る説明会や都市計画手続き、よりよい景観形成をめざすための屋外広告物の規制等に関する取り組み、安全・安心なまちづくりを進めるための耐震化の必要性や補助制度など、きめ細やかな情報発信を行います。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画に係る内容や手続きについて広く周知を図るため、広報の活用のほか、利用者目線のホームページに更新するとともに、必要に応じて関係者には個別に周知するなど、きめ細やかな情報発信に努めました。 ・枚方市駅周辺で広告物を掲出している店舗等を対象にパトロール活動を行い、枚方市屋外広告物条例制度の周知及び安全啓発を推進しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆市民や枚方市の職員を志す学生などに、都市整備部の業務内容を広く知っていただくため、リーフレットを作成するとともに、ホームページにも掲載します。

実績	市民や枚方市の職員を志す学生などをターゲットに、都市整備部の業務内容についてとりまとめた「都市整備部のしごと」を更新し、ホームページに掲載するほか、職員採用セミナーで活用しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆宅地建物取引に関する重要事項説明書に関する調査方法や所管部署をまとめたリーフレットを作成するとともに、ホームページにも掲載し、市民や事業者の方に情報提供します。

実績	宅地建物取引に関する重要事項説明書に関する調査方法や所管部署をとりまとめたリーフレットを作成して庁内関係部署の窓口に設置するとともに、ホームページへ掲載するなど、市民や事業者の方へ周知を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆枚方市総合文化芸術センター等の整備状況について、適宜ホームページに掲載し、市民の皆様に工事の進捗をお知らせします。

実績	毎月ホームページに工事の施工状況を掲載し、本センターの整備状況を市民に周知しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	